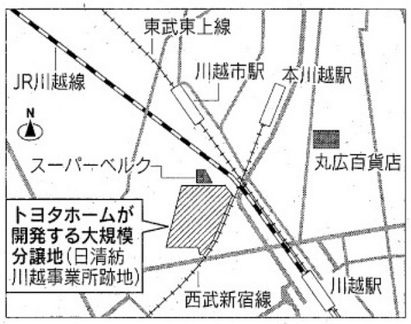
埼玉

トヨタホーム、川越で大規模分譲

エネルギー・環境に配慮

災害時の「安心」アピール

トヨタ自動車グループのトヨタホームは5月、川越市の日清紡川越事業所跡地の約5・4ヘクタールの土地で257戸の戸建て分譲住宅の販売を始める。川越駅や本川越駅から徒歩6～7分の市中心部で戸建て住宅の大規模分譲は珍しい。緊急時に外部電源から電力を受けられるコンセントを各戸に設け、東日本大震災後にエネルギー自給への関心を高めている消費者に「安心」をアピールする。



同街区は「川越ココロマチ」と名付けた。4L気自動車やプラグインハイブリッド車用の充電器DK主体で、中心価格帯は6000万円台前半～7000万円台後半。5月中旬にも第1期の販売を始める予定だ。入居は9月ごろの見込み。

トヨタホームはグループの強みを生かし、各戸に電池や発電機など外部電源から電力を引き込むためのコンセントを設置する。1500ワットの電力を受電でき、停電時でも電子レンジやテレビなどが利用できる。

トヨタ自動車の「エスティマハイブリッド」からも電力を引き込めるようにする。

緑化や景観に配慮したことも特徴だ。旧工場にあったヒマラヤスギやサクラなどの高木を移植し、公園や街路内の緑化に生かした。電線も地中化して景観を整えた。

日清紡の川越事業所は紙製品や化学品を製造していたが、2009年に持ち株会社化に伴う事業見直しで閉鎖を決定。川越市中心部の好立地だけに再開発に注目が集まっていた。

日清紡ホールディングスは「商業施設も検討したが、需要や周辺道路との接続などを勘案して住宅開発を決めた」としている。

☎ さいたま支局 048-822-2580

県、下水処理でタイ支援

県内企業進出へ足掛かり

埼玉県は13日、タイ下水道公社（WMA）と技術支援の協力合意書を19日に結ぶと発表した。県は上水道分野では既に2011年度からタイへの技術支援をしている。海外で水ビジネスの実績を重ねてノウハウを蓄積し、同分野での県内企業の進出などにつなげる。

12～14年度の3年間、タイ東部の地方都市で下水処理技術の支援を行う。首都バンコクに比較的近い都市が対象になる見込みで、具体的な場所は今後詰める。

まず予備調査として、地方都市にある下水処理場の課題などを現地で調べる。その後、対策が必要な箇所などについて、経済性や効率性の観点から優先順位を設定。下水処理場に県の技術者など4人を1回につき2週間程度派遣し、下水の処理や維持管理などの技術について指導する。

WMAの職員5人を受け入れて日本で研修も実施する。

タイでは急激な経済発展や都市化の進展による水質汚濁が問題になっている。対策として下水処理場が相次いで建設されているが、施設を適正に維持管理する技術の向上や技術者の育成が課題になっているという。

県は水ビジネスの海外展開を積極的に進めている。11年9月に受け皿となる官民連携の連絡部会を設立。海外での水ビジネスを検討する企業に案件を登録してもらって支援する体制も整えた。

個人消費「持ち直し」

2月7ヵ月ぶり上方修正

関東経済産業局は13日、2月の管内（関東甲信越と静岡県）経済動向を発表した。新車販売や大型小売店販売の改善を受け、個人消費は「持ち直しの動きがみられる」と、7カ月ぶりに上方修正した。ただ鉱工業生産などは横ばいで、全体の景況判断は「横ばい傾向にある」のまま6カ月連続で据え置いた。

関東経産局内管内の鉱工業生産指数（2005年＝100）は86・6で、前月比1・4％低下した。低下は3カ月ぶり。携帯電話や液晶ディスプレー製造装置などエレクトロニクス関連業種が落ち込んだ。

個人消費では大型小売店販売額が既存店で7カ月ぶりに前年同月を上回った。厳冬の影響で冬物商品が好調だったほか、節分やバレンタインなど季節商品の消費も堅調だった。新車販売台数（軽自動車を含む）もエコカー補助金の復活で前年同月比29・3％増えた。

・水道」が電気代の値上がりで上昇。「被服及び履物」も男性向け衣料品の上がりで上昇した。ダイコンやトマトの値上がりで生鮮食品も上昇した。

消費者物価指数 2月は0.6％上昇

さいたま市

埼玉県がまとめたさいたま市の2月の消費者物価指数（2010年平均＝100）は価格変動が大きい生鮮食品を除く総合指数で100・1となり、前年同月比で0・6％上昇した。上昇は3カ月連続。

十大費目のうち「光熱

ホテルなど入居 浅草に複合施設

東京楽天地

東京楽天地は13日、2006年に閉館した映画館「浅草東宝会館」（東京・台東）などを解体し、ホテルや物販店などが入居する複合施設を建設すると発表した。投資額は約100億円で14年末に開業する予定だ。「まるごと日本プロジェクト」をテーマに全国各地の民芸品や食品を扱い、浅草を訪れる観光客や外国人客に日本の文化や魅力をアピールする。

医療充実 利用者呼ぶ

サービス付き高齢者住宅

高齢者住まい法の改正を受け、昨年10月に登録が始まった「サービス付き高齢者向け住宅」が増えてきた。バリアフリーの居室に見守りサービスと生活相談を義務付けたのが特徴。診療所を入居させるなど医療サービスの充実した施設を中心に需要が広がっている。

学研ココファン（東京・品川）が運営する「ココファン西八王子」（八王子市）は昨年11月に開設、54部屋の6割が契約済み。昼に3人、夜は1人のヘルパーが常駐し入居者の体調を確認する。

終身契約決め手

2月に入居した80歳の女性は自宅で元気に約20年間1人暮らしを続けてきたが、「将来はどうなるか分からない」と不安になった。有料老人ホームへの入居は待機者が多く難しい。決め手となったのは学研ココファンの終身契約だ。「寝たきりになっても追い出されないと聞いて選んだ」

病院を退院した後に継続して医療を受けたい高齢者も多く、需要に応えようと医療サービスを充実する施設が目立つ。

医療法人啓和会（川崎市）が川崎駅近くに開いた「メディカルケアメゾン」。徒歩1分圏内に整形外科・歯科・内科の診療所があり、2キロメートル以内に訪問介護・看護の事業所やグループホーム、リハビリ施設など約20施設が集積する。いずれも啓和会が運営する施設だ。

ケアマネジャーの渡辺潤さんは「医師と絶えずミーティングを開き、入居者の情報を共有している」と語る。入居者の要介護度が上がれば、手厚いサービスが受けられる建物に入居するのは千葉近くのグループホームへの住み替えも可能だ。1カ月あたりの費用は食事付きで15万円台。年内にサービス付き高齢者向け住宅を1棟増設する。

医療・介護施設が同じ建物に入居するのは千葉市にある「サポートハウス稲毛」。居室は3階の20室で2階以下は診療所や訪問看護ステーション、デイサービス事業所がずらり。要介護度が上がっても最期まで住み続けられる。生活協同組合が母体の社会福祉法人、生活クラブ風の村（千葉県佐倉市）が運営し、現在登録を申請中だ。

川崎、千葉の両施設とも入居率は100％。医療体制の充実した施設に需要が集まっている。

ペット飼育OK

ただ、課題もある。例えば特別養護老人ホームが入居者の生活をきめ細かく管理する代わりに施設内の事故には全責任を負うのに対し、サービス付き高齢者向け住宅は「プライバシーの問題で許可なく部屋に入れず、責任をどう線引きするかが難しい」（生活クラブ風の村の池田徹理事長）。

登録のハードルが低い半面、施設ごとのサービスに差ができるのも事実だ。サービス付き高齢者向け住宅に詳しいファイナンシャルプランナーの山田静江さんは「入居後のトラブルを避けるためにも介護度が上がった際の体制や、上乗せサービスの金額や支払い方法を事前に調べて入居してほしい」と説明する。

事業者にとっては生活の満足度をいかに高めるかが知恵の出しどころ。白馬メディケアサービス（埼玉県久喜市、前田恵美子社長）の「ハーウィル栗橋」はペットを飼うこともできる。「動物には癒やしの効果がある」と前田則夫所長。小学生を招いて福笑いやすごろく大会をするなど月に1回程度のイベントを開催。入居する河本早苗さんは「買い物の送迎や荷物の搬送もあり助かる」と語る。サービスの幅が広がる分、施設選びは慎重に進めたい。

病院や買い物などの送迎サービスを実施する（久喜市のハーウィル栗橋）

1都3県に9040戸

▼サービス付き高齢者向け住宅　昨年10月の法改正で、高齢者専用賃貸住宅（高専賃）など3種類の高齢者向け住宅を一本化。バリアフリー構造で安否確認や生活相談の対応の登録要件を満たす必要がある。入居時の費用は有料老人ホームなどに比べ安く、要介護度にかかわらず入居できる。登録されると事業者は新築時の費用補助などが受けられる。

3月末時点のサービス付き高齢者向け住宅の登録件数は88施設の3万1094戸。首都圏1都3県の登録は計233施設9040戸。東京都内が84施設3036戸、埼玉県内が58施設2250戸、神奈川県内が55施設2235戸、千葉県内は36施設1519戸と着実に増えている。

サービス付き高齢者住宅の主な特徴

施設名（運営事業者）	サービス内容や料金
ココファン西八王子（学研ココファン）	終身契約に対応。夜間もヘルパーが常駐。月額11万～15万円程度で食事代は別
メディカルケアメゾン（啓和会）	2キロメートル圏内に整形外科、歯科、内科診療所やグループホームなどを集積。食事付きで月額15万円程度
サポートハウス稲毛（生活クラブ風の村）	施設内に診療所や訪問看護ステーション、デイサービス事業所が入居。食事付きで月額20万円前後
ハーウィル栗橋（白馬メディケアサービス）	そば打ちなど月1回イベント開催。1階でペット飼育も可能。月額12万～14万円台で食事代は別

専門機関入居 ■ 介護にも対応

居室内の責任 線引き課題

メガロリポート

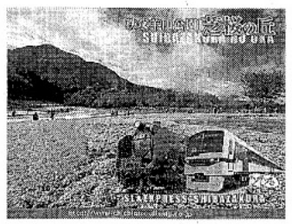
秩父鉄道、アニメとコラボ

芝桜開花に合わせ

「あの花」列車 運行

秩父鉄道は秩父市の羊山公園の芝桜が見ごろを迎えるのに合わせて記念列車を運行する。

秩父地域が舞台の人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」（通称「あの花」）とのコラボレーション企画として、列車の先頭にオリジナルのマークをつける。



「あの花×芝桜」号を急行列車として14日～5月5日の土・日・祝日に運行する。29、30日は蒸気機関車が客車を引くSLパレオエクスプレス号としても運行する。

秩父駅、大野原駅、御花畑駅で14日から5月6日まで、記念入場券を芝桜と列車をデザインした台紙＝写真＝付きで発売する。価格は160円。

「あの花」は昨年4～6月に放映された。